

1 .「水道ビジョンの策定にあたって」

1.はじめに

村上市は、平成20年4月1日に旧村上市、旧荒川町、旧神林村、旧朝日村、旧山北町の1市2町2村が合併して誕生した新市であり、総面積 1,174.24 k m² は県内最大の市域となり「山紫水明」の語感にふさわしい、全国に誇れる雄大な自然を有しています。

水道事業にあつては、旧山北町を除く4市町村の上水道事業を事業統合し、新たに村上市上水道事業として事業認可を受けています。

また、簡易水道事業は旧荒川町を除く4市町村の簡易水道23施設、飲料水供給施設3施設がそれぞれ事業認可を受け管理運営しています。

本市では、活気ある自立した自治体であり続けるために、行財政改革に取り組んでおり、水道事業等においても、事業の統合や運転管理及び維持管理体制の整備、水道料金体系の統一や今後の施設整備の方針など新たな事業の方向性を明らかにすべき基本計画を策定する必要が生じています。

さらに、厚生労働省では、平成16年6月に「水道ビジョン」を策定し、今後の水道に関する重点的な政策課題とそれに対処するための施策を包括的に明示し、これを実現化するために平成17年10月に全国の水道事業体等に対して「地域水道ビジョン」の策定を求めています。

このような状況を踏まえ、村上市では、水道事業の現状等を分析・評価し、国の水道ビジョンの政策課題である『安心・安定・持続・環境』などをキーワードに「村上市水道ビジョン」を策定しました。

今後、本ビジョンにおける水道事業の将来像の実現に向けて全力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、市民、事業者の皆様の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年3月

新潟県村上市長 大 滝 平 正

2. 村上市水道ビジョンの位置付け

